

2 学級活動

(1) 指導目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだして話し合い、合意形成したことを協力して実践したり、自己の課題の解決や将来の生き方を描くために、学級での話し合いを生かして意思決定して実践したりすることに、自主的・実践的に取り組むことを通し、集団活動における行動の仕方を身に付けたり、話し合いによって課題を解決したり、自己の生き方について考えを深めたりする力を育てる。

(2) 指導方針

児童一人一人のよさが十分発揮でき、互いの人格を尊重し合いながらよりよく成長し合えるような人間関係の醸成に努めながら、自主的・実践的な活動が展開されるように、学級の実態や発達の段階に即し、系統性をふまえて指導する。

(3) 指導の重点

年間指導計画に基づき、一連の学習過程を通した効果的な指導を工夫し、学級や学校での生活の充実に向けた自主的・実践的な学級活動の推進を図る。

- | | |
|-----|---|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの方法を身につけ、自分の意見を発表したり、友達の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを実感できるようにする。 ・基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解し、自分にできる方法を見付けて目標を決め、生活や学習に進んで取り組むことができるようにする。 |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・理由を明確にして発言したり、自分と異なる意見を受容したりしながら、提案理由をふまえて合意形成を図り、協力して実践できるようにする。 ・よく考えて行動し、節度ある生活ができるようにするとともに、自分の特徴や役割を自覚して目標を立て、継続した取組によって成長を感じられるようにする。 |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの意見を大切に受け止めたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践し、振り返り、次の活動に生かせるようにする。 ・日常の生活や学習について、学級での話し合いを生かして考えを深めて意思決定し、より高い目標をもって粘り強く努力するとともに、自他のよさを伸ばし合うことができるようにする。 |

(4) 重点施策

- ①児童による自主的・実践的な活動が積み重ねられるように、年間指導計画に基づいて学習内容や活動を組み立てる。
- ②学級活動の内容(1)(2)(3)それぞれの活動の特質に即した基本的な学習過程を通した指導を行い、指導方法の工夫・改善に努める。
 - 【事前の指導】・問題意識を高めるための事前指導における手立ての工夫
 - 【本時の指導】・よりよい合意形成や意思決定に向けて話し合い活動の充実を図る手立ての工夫
 - 【事後の指導】・合意決定したことを実践したり、意思決定したことを自ら実践したりする活動を効果的に支援する手立ての工夫
- ③児童のよさや可能性を多面的・総合的に評価し、授業の改善に生かすことのできる評価方法を工夫する。
- ④活動状況や実践の積み重ねが見える学級活動コーナーの充実を図る。

(5) 活動内容及び配当時間

- | | |
|----------|--------------------------|
| 学級活動 (1) | 学級や学校における生活づくりへの参画 |
| 学級活動 (2) | 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 |
| 学級活動 (3) | 一人一人のキャリア形成と自己実現 |

内容	活動内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(1)の内容	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	9	9	9	10	10	10
	イ 学級内の組織づくりや役割の自覚	3	4	4	4	4	4
	ウ 学校における多様な集団の生活の向上	4	5	7	7	8	8
		16	18	20	21	22	22
(2)の内容	ア 基本的な生活習慣の形成	2	2	1	1	1	1
	イ よりよい人間関係の形成	1	1	1	1	2	2
	ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成	6	6	5	4	2	2
	エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	2	1	1	1	1	1
		11	10	8	7	6	6
(3)の内容	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	3	4	4	4	4	4
	イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	2	1	1	1	1	1
	ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	2	2	2	2	2	2
		7	7	7	7	7	7
全体の合計		34	35	35	35	35	35